

背景は御林守小川氏由緒書〔個人蔵〕  
おはやしもり

広報 2016 3 月  
No.1051 第3金曜日号

# ひらつか



## 平塚と家康

市内には、江戸幕府を開いた徳川家康にまつわる古文書などが数多く残されています。  
徳川家の家紋である、丸に三つ葉葵あおいの紋は旧家に伝わる品の一部です。詳しくは2面へ。

目次	1～3面… <b>特集</b> 今に残る天下人の足跡…平塚と徳川家康の関係を紹介します。	8面…「写真リポート」「がんばれ湘南ベルマーレ」「フォト歳時記」「市長こらむ」	◎発行 平塚市 ◎編集 秘書広報課 〒254-8686 神奈川県平塚市浅間町9番1号 ☎0463-23-1111 ☎0463-23-9467 <a href="http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/">http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/</a>
	4～7面…募集・お知らせ・健康と福祉・スポーツ 「子どもの健康」「お知らせ掲示板」など	広報ひらつかのPDF版と電子書籍版やデジタルアーカイブは、市ウェブからご覧いただけます。	

●●●●● 広報ひらつかが届かない場合は、ミッド☎0120-350311(月～金曜日、午前9時30分～午後5時)にご連絡ください。●●●●●

# 今に残る天下人の足跡

市内には徳川家康にまつわる、ゆかりの品や伝説があります。家康と今の平塚がどのようにつながっているのか。家康没後400年の今年、その関係をひもとく特別展を博物館で開きます。

問 博物館 ☎ 33-5111

霜枯れた野の向こうに、初雪をのせた富士の嶺があざやかである。

徳川家康は、左腕に巻いた紫紺の弓懸に鷹をすえ、眼前にひらけた野を目をほそめてはるばると見渡した。

野の名を、

雲雀野

という。

東海道の宿場、相州平塚宿の北一里にひろがる風光明媚な野であった

市内に在住し、昨年2月に亡くなった小説家・火坂雅志さんの作品「家康と権之丞」の一節です。雲雀野とは今の平塚市中原周辺を指します。家康は鷹狩を好んだことで知られています。当時の中原は水場が多く、鷹狩に適していたと言われています。

天正18(1590)年、豊



## 中原御殿から広がる

家康が築いた宿泊場所は当時の地名、大住郡中原村から「中原御殿」と呼ばれました。別名「雲雀野御殿」とも呼ばれ、その跡地は現在、中原小学校(御殿跡)2-8-9(左地図)になっています。東西141m、南北101mと、中原小学校の敷

地が全て収まる程の広大な敷地でした。この中原御殿は、宿泊場所としてだけではなく、家臣らと面会するなど、政治的にも利用されました。また、豊臣方の勢力などによる攻撃に備えた防御機能もありました。周囲に幅約11m



## 家康の名が守るもの

中原御殿の造営と同時期に家康は金目川沿いの堤防を普請します。水害対策のための中原御殿の造営が堤防の整備を促したとも考えられます。「領主として、領民の生活を良くするため、という意図もありましたが、それだけではありません」と博物館の早田旅人学芸員は話します。家康にとつて平塚は、かつての敵

の領地。自分を売り込み、受

の堀を巡らせ、敵の侵入を防ぐために直角に曲がった「鉤の手」と呼ばれる道が周辺に作られました。現在も当時の道筋が道路として残っています。南原2丁目にある鉤の手の名残の辻には、今は石仏が建っています。

け入れられる必要がありました。さらに平野が広がる地域に田畑を開墾し、領地を豊かにするために民心を集めなければなりません。堤防を整備して治水を進めた家康に対し、住人の感情は警戒心から尊敬へと変わっていききました。家康没後、享保期(1716-1735年)になると幕府は堤防の管理から手を引きますが、その後も住民は家康の手による堤防という由緒を幕府に主張し、地域や農業を守るうとしました。「生活を守るため、家康の名前を一つの道具として利用してきたことは、したたかな敬意とでも言えるのではないでしょう」と早田学芸員。

## 平塚宿の持つ役割

江戸幕府の開設後、東海道の整備され平塚宿が置かれま

## 家康と中原の歴史

日付は旧暦

年号 西暦	内容
天正18 1590	家康が関東へ入国する際、中原に立ち寄る
文禄4 1595	豊田本郷の清雲寺が洪水により水没
慶長元 1596	中原御殿造営。金目川の堤防を普請
慶長5 1600	9月15日関ヶ原の合戦
慶長6 1601	中原御林15カ所の植林。東海道の整備される
慶長8 1603	家康が征夷大将軍に任命される
元和2 1616	4月17日家康が死去
元和3 1617	3月20日家康のひつぎが中原御殿に泊まる
明暦3 1657	裏門を残し、中原御殿が解体される。移築した裏門が南原3丁目の善徳寺の山門と伝えられる
元禄10 1697	中原御殿跡地に御林を植林。合計16カ所となる

した。当時の東海道は各宿の間の平均距離が約8・7段でしたが、平塚宿と次の大磯宿の距離は、約3段と3分の1ほどしかありません。県内の東海道の9つの宿では箱根に続いて2番目に小さな宿でした。平塚に宿が置かれた理由を「当時、中原御殿に最も近い交通集落であった平塚が東海道と中原御殿との中継基地として利用されたためでは、

## 家康が愛でた御茶屋寺



清雲寺に残る井戸の跡



ふたと側面に葵の紋が描かれた銚子

家康が訪れた清雲寺の井戸の水は名水と言われていました。家康がこの井戸の水で沸かした茶を好んだことから、別名「御茶屋寺」とも呼ばれています。中原御殿の造営後も家康はこの寺に立ち寄ります。清雲寺には家康から賜ったとされる銚子や茶わん、茶を入れる時に使用したという茶釜が今も寺宝として伝わっています。

## 伝わるゆかりの品

豊田本郷の中戸川家に代々伝わる品。1面の葵の紋はこの一部です。鷹狩のために清雲寺を訪れた家康をもてなした初代の伊右衛門が賜りました。直径5寸ほどの小さな紋。これはいったい何に使われたのでしょうか。

「わが家では、かぶとの八幡座に飾るためのものではないかと伝わっています」と中戸川忠義さん(左写真)。かぶとのつぺんには穴が開いています。その穴に飾るものではないかということです。漆塗りの厨子状の箱に納められています。「小さなものなので、なくなってしまうまいように、仏壇に飾ってあります。家族にも興味を持って、大切に伝えてもらいたいです」と話します。



## 葵の紋の正体は

## 受け継がれる東照宮

徳川家康を祭る神社を東照宮と呼びます。徳川家康が立ち寄った土地などに建てられ、現存しないものも含めると、全国で700カ所ほどあったと言われてい

市内では、元は中原御殿に祭られていた東照宮がある日枝神社(中原3-20-16)のほか、片岡神社(片岡1241)などで見ることができます。

また、個人で代々祭ってきた東照宮もあります。横内の平井さん宅の裏手にある小さなお社。この東照宮は、以前は六兵衛土手に祭られていたと言われてい

毎年、家康の命日の4月17日ごろに地域の方や水利土木委員らが集まります。神田寺の住職がお経をあげ、皆でお参りをします。「初めて委員になった人は、『こんなところに東照宮があったんだ』と驚きますね」と平井さん。東照宮前に旗を立て、室内に「東照神社」と書かれた掛け軸を飾ります。掛け軸は、昭和25年に地域の人から贈られました。特別展では、この旗と掛け軸も展示されますが、会期中、4月17日には平井さんのお宅に戻ってきます。「この集まりをいつまで続けられるか分からないけど、自分ができるうちは続けていきたいですね。先祖が残してきたものを守っていくのは、自分自身を守っているように感じます」と話してくれました。



「この社は20年ほど建っています」と平井さん



天保14(1843)年作の「中原御宮記」。中原御殿の由緒を書いたこの資料にも、中原御殿跡の御林が描かれています

くないでしようか」と早田学芸員は解説します。「東海道の宿が平塚に置かれたことは、現在の平塚市の市名につながっています。もし中原御殿が無かったら、海運の港として当時栄えていた須賀が地域



## 中原御殿を守る御林

の中心になっていたかも知れません。そうすると、平塚市

ではなく須賀市になっていたかもしれないですね」。

「そういえば、以前はうちの2階から海が見えました。そう考えると中原御殿は高台にあったのでしようね」と御殿の小川富久さんは話します。小川さんの家に伝わる元文元(1736)年11月に書かれたという古文書には「往還通り海辺迄一面二見透候二付」と書かれ、造営当時の中原御殿から東海道や海が見通せたと記されています。

家康が滞在する中原御殿が外部から見透かされるのを防ぐため、慶長6(1601)年に周囲に松が植えられました。小川さんの先祖の小川庄左衛門は松林の管理をする御林守を勤めました。市内には、合わせて15カ所の松林が植えられ、総称して「中原御林」と

御林は砂防のほか、雨水を吸収して水源を保つ役割を果たし、耕作地が広がりました。地域の農業基盤を支え、御林

### 御林はまちの礎

御林は砂防のほか、雨水を吸収して水源を保つ役割を果たし、耕作地が広がりました。地域の農業基盤を支え、御林

呼ばれました。

徳川家康が元和2(1616)年に没してから、中原御殿は使われなくなり、6月に起きた大火で江戸城が被害を受けると、修復用資材として再利用するため裏門を残し解体されます。中原御殿の跡地にも松が植えられ、御林は全部で16カ所、植え付け面積が126町歩(約1.2平方キロ)に上りました。これは総合公園のおよそ4倍の広さです。



江戸初期に書かれた地図を見る小川富久さん(右)と妻の桂子さん

の木は橋や堤を作る資材にもなりました。その後、東海道線の駅舎の建設用れんがを焼く燃料として伐採され、明治期には姿を消します。明治38(1905)年、後に海軍火薬廠となる日本火薬製造株式会社が御林の跡地に建設され、戦後、海軍火薬廠の跡地には市役所や民間工場、学校が建てられ、現在の平塚の政治経済の基盤となりました。「古文書や古い地図などが

### 地域の歴史を考える

「今に残る歴史書や伝説の多くは後世の人が作り、伝えたもので、真偽が確かなものばかりではありません」と早田学芸員。「ですが、作り話だったとしても、家康の名前を使うことで利害の調整ができ、生活が守られました。語られ続けたことが重要ではないでしょうか。展示の全てを真実と受け止めるだけでなく、いわれや伝説が地域に与える影響を考えることが歴史だと思えます」と話します。

「特別展を通して、住んでいる地域と家康の関係をあらためて知ってもらいたいです。過去からつながる今について理解を深める機会になれば」と期待を込めます。

## 家康も通った道 中原街道

中原街道は、江戸城虎ノ門(東京都港区虎ノ門)～中原の約60kmをほぼ直線で結び、家康は中原御殿を訪れる際にこの街道を使っていました。天保期(1830～1844年)まで中原で作られていた『中原酢』を将軍家へ献上するための道でもあったことから「御酢街道」とも呼ばれました。現在、市内には中原街道と名前の付いた道は残っていませんが、点在する史跡から当時の名残を感じることができます。

ひらつか文化財ガイドボランティア協会が主催するツアー「ガイドと巡る平塚の文化資源 中原街道(四之宮～中原)」が2月28日にあり、19人が参加しました。ツアーは1月～3月に市内を3回に分けて巡ります。2回目のこの日は、真土神社(東真土3丁目)参道の中原街道の碑や中原一里塚(中原2丁目)跡を経て、中原小学校を目指しました。妻の陽子さんと参加した四之宮の堀井敏夫さんは「中原街道が市内を通っていたことは知っていましたが、コースが分からなかったのが今回参加しました。意外な場所に名残があると知れて楽しかったです」と笑顔で話してくれました。



ガイドの解説に耳を傾ける参加者

## 博物館 春期 特別展

### ひらつかの家康伝説 由緒と地域

3月19日(土)～5月8日(日) 特別展示室

市内に残る家康の伝説やゆかりの品・古文書など110点の資料を展示します。

野外見学会 中原御殿を歩く 4月3日(日) 午前10時～正午。御殿周辺。20人(抽選)。雨天時は講堂で解説。

必要事項 行事名を、往復はがきで、3月22日(火)までに、〒254-0041浅間町12-41博物館へ。

記念講演会 講堂。各50人(当日先着順)。中原御殿と中原陣屋 その特質と役割 3月26日(土) 午後1時30分～3時。

中原御殿に家康の戦略を読む 4月9日(土) 午後1時30分～3時。

家康由緒と平塚の地域形成 16日(土) 午後1時30分～3時。

展示解説 特別展示室。午後1時～1時55分。3月20日(祝)・4月23日(土)・5月7日(土)。

# 募集

応募方法は  
下段

## 市の臨時職員

採用は4月下旬。選考。保健師は時給1440円。保育士は時給980円。4月20日(水)に本館7階のこども家庭課で面接します。

①おやこ広場臨時職員 家庭児童相談員の補助をします。保健師または保育士1人。

②そだれん臨時職員 年間20回程度開く、子育て講座の開催時に保育をします。保育士2人。

③履歴書と資格証の写しを、本人が直接、4月1日(金)～8日(金)の平日、午前8時30分～午後5時に、本館7階のこども家庭課☎21-9843へ。

## サン・サンスタッフ(学校司書)

市内の小・中学校で図書館資料の収集や整理、授業の協力などをします。2年間の登録制で、4月から必要に応じて採用します。司書・司書補。

司書教諭の資格がある方。年91日程度、月12日以内、1日5時間。時給980円。面接は3月25日(金)。

## 中央公民館 市民大学講座

中央公民館など。各40人(抽選、市内在住・初めての方を優先)。300円。

①ロボットとリハビリ現場の近未来 ロボット技術がリハビリテーションの現場でどのように活用されていくかを学びます。

4月26日～7月12日の火曜日、全7回、午後1時30分～3時。館外学習は施設利用料などが必要です。

②脳とカラダの健康ケア 市民病院の現場から 脳の病気の概要と治療法などを学びます。

## 再生家具を提供します

再利用可能な家具を修理・提供します。50個程度(抽選)。1人1点。修理費程度が必要です。

④ 4月1日(金)～8日(金)、午前9時～午後4時(8日は正午まで)に、四之宮7-3-5リサイクルプラザ☎51-5301で現物を確認し、申込書を直接、同プラザへ。

## イースター子ども英語教室

歌や工作、ゲームをして発音などを学びます。4月2日～30日の土曜日、

## 親子で体験! 野菜づくり

春の親子野菜づくり体験教室と採れたて野菜調理教室を開きます。野菜の植え付けから収穫までを体験して、収穫した野菜を調理します。農の体験・交流館(寺田縄457-5)。荒天中止。

- ①種・苗植え付け 4月16日(土)午前10時～正午。
- ②種まき・管理作業 5月14日(土)午前10時～正午。
- ③一部収穫・管理作業 6月11日(土)午前10時～正午。
- ④収穫・調理 7月23日(土)午前10時～午後2時30分。

花菜ガーデン(寺田縄496-1)で調理します。市内在住の小学生と保護者10組(先着順)。1組1,000円④は花菜ガーデン入園料も。長靴・軍手・タオル。汚れてもよい服装でお越しください。

☎ 電話で、3月23日(水)から、農の体験・交流館☎58-5201へ。



自分で育てた野菜を収穫しよう

す。実技指導もあります。希望日だけの参加もできます。4月22日～6月17日の金曜日、全5回、午後3時～4時15分。

⑤ 必要事項・年齢・講座名(②は参加希望日)を、はがきで、4月6日(水)までに、〒254-0047 追分1-20 中央公民館☎34-2111へ。

全4回、午後2時～3時15分。青少年会館。4月1日現在、市内在住の小学校1・2年生20人(抽選・初めての方を優先)。筆記用具・色鉛筆など。100円。

⑥ 必要事項・学年・教室名・参加経験の有無を、はがき・ファクス・メールで、3月22日(火)までに、〒254-0041 浅間町12-41 青少年課☎32-7029 ☎31-1441 seisho nen@v。

ジュニア・リーダー養成講習会 キャンプなどを通してリーダーとして必要な知識や技術を学びます。5月～10月、全6回。市内在住の中学生45人(抽選)。405円。キャンプなどは2700円程度が必要です。

⑦ 学校で配る申込書を、郵送または直接、4月12日(火)までに、〒254-0041 浅間町12-41 青少年課☎32-7029

へ。市ウェブからも応募できます。

## 他組織との連携による地域課題解決講座

市民提案型協働事業の制度説明会もあります。4月9日(土)午後2時～4時30分。市民活動センター。市民活動団体の方ら32人(先着順)。

⑧ 氏名・電話番号を、電話・ファクス・メールで、市民活動センター☎21-7517 ☎22-3701 hirasc@mb.scr-net.ne.jp。

## 美術館ワークショップ

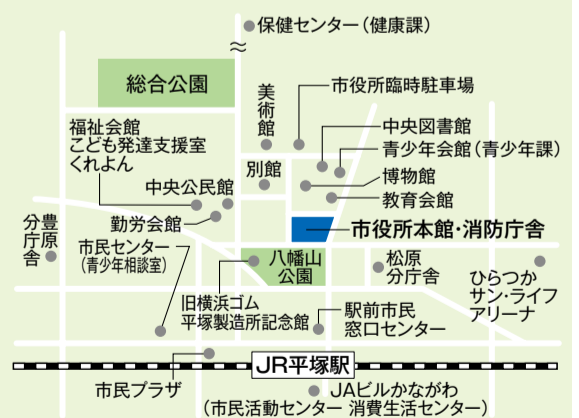
美術館の前庭にチョークで花を描きます。4月23日(土)午後1時30分～4時30分。小学生12人(抽選)。1000円。雨天決行。

⑨ 講座名・実施日時・必要事項・年齢・ファクス番号・メールアドレスを、はがき・ファクス・メールで、4月7

日(木)までに、〒254-0073 西八幡1-3-11 ☎35-2741 hira@hirase-net.ne.jpへ。メールは件名を「ワークショップ応募」に。

## 応募方法

- 募=応募方法 (応募が必要です)
- 問=問い合わせ
- 必要事項とある場合、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号をご記入ください。
- 市役所への郵便物は、〒254-8686 平塚市役所〇〇課で届きます。
- 募集開始日の記載がない場合、3月22日(火)午前8時30分から、受け付けます。
- メールの応募の場合、city.hiratsuka.kanagawa.jp を付けてください。



## 記入例

往復はがき	郵送・ファクス・メール
住所 氏名	イベント名 郵便番号 住所 全員の氏名 電話番号 その他の事項
返信	返信

⑩ 氏名・電話番号を、電話・ファクス・メールで、市民活動センター☎21-7517 ☎22-3701 hirasc@mb.scr-net.ne.jp。

## 美術館の市民アートギャラリーで展示しませんか

平成28年度後期(10月～平成29年3月)分の利用申し込みを受け付けます。抽選。1日単位で最長6日間(火曜日～日曜日。月曜日が祝日や振替休日の場合は7日間)。1日当たり全室1万円・A室6000円・B室4000円。

⑪ 財団ウェブにある申込書を、郵送・ファクスまたは直接、4月1日(金)午後5時までに、〒254-0045 見附町15-1 まちづくり財団文化事業課☎32-2237 ☎32-2240へ。

⑫ 氏名・電話番号を、電話・ファクス・メールで、4月7日(木)までに、〒254-0073 西八幡1-3-11 ☎35-2741 hira@hirase-net.ne.jpへ。メールは件名を「ワークショップ応募」に。

⑬ 氏名・電話番号を、電話・ファクス・メールで、4月7日(木)までに、〒254-0045 見附町15-1 まちづくり財団文化事業課☎32-2237 ☎32-2240へ。

⑭ 氏名・電話番号を、電話・ファクス・メールで、4月7日(木)までに、〒254-0073 西八幡1-3-11 ☎35-2741 hira@hirase-net.ne.jpへ。メールは件名を「ワークショップ応募」に。

## 市民演劇フェスティバルの運営・参加団体

9月24日(土)・25日(日)に中央公民館で開催する湘南ひらつか市民演劇フェスティバルの運営・参加団体を募集します。

⑮ 市内に拠点があり、大学生以上の市民を中心に活動している演劇団体。参加分担金3万円程度。詳しくは、お問い合わせください。

⑯ 財団ウェブにある申込書を、郵送・ファクスまたは直接、4月1日(金)午後5時までに、〒254-0045 見附町15-1 まちづくり財団文化事業課☎32-2237 ☎32-2240へ。

⑰ 氏名・電話番号を、電話・ファクス・メールで、4月7日(木)までに、〒254-0073 西八幡1-3-11 ☎35-2741 hira@hirase-net.ne.jpへ。メールは件名を「ワークショップ応募」に。

## 広報ひらつかをアプリで配信

4月第1金曜日号から広報ひらつかの電子書籍版をスマートフォンやタブレット端末で手軽に読めるアプリ「i 広報紙」で配信します。

アプリケーション「i 広報紙」をダウンロードして平塚市を登録すると、最新号の発行を通知でお知らせします。アプリのダウンロードは無料でできますが、通信費は利用者の負担です。

「i 広報紙」での配信開始に伴い、EPUB形式の配信は終了します。

☎ 秘書広報課☎21-8761



## 広報

# お知らせ

## 市民活動ファンドの助成審査会

平成28年度の助成団体を定める審査会で、市民活動団体が活動をPRします。

3月26日(土)午後2時～5時。市民活動センター。

☎ 協働推進課 ☎21-7534

## 3月下旬～4月上旬は土・日曜日に窓口を開設

転入・転出や転居などの手続きができます。他の市町村などに確認する必要がある手続きなどは、取り扱えない場

合があります。事前に担当課までお問い合わせください。

3月26日～4月3日の土・日曜日、午前8時30分～正午と午後1時～5時。

住民異動届(転入・転出・転居など)、戸籍届(出生・死亡・婚姻など)、住民票の写しや戸籍謄・抄本の交付など

市民課(107～109番窓口) ☎21-8772

個人番号カードの交付 市民課(303・304会議室) ☎23-111

11内線2306・2307

児童扶養手当、小児医療費助成、ひとり親家庭等医療費助

成の手続きなど こども家庭課(10番窓口) ☎21-9844

国民健康保険の加入・脱退の手続き、国民健康保険税の納付など

国民年金課課税担当(115・116番窓口) ☎21-8775

高齢受給者証、限度額適用認定証の手続きなど

保険年金課給付担当(17番窓口) ☎21-8776

後期高齢者医療制度の加入・脱退の手続きなど

国民年金加入者の市内転居手続き

国民年金課国民年金担当(119番窓口) ☎21-8777

小・中学校の転入学手続き、入学通知の発行など

教育総務課学務担当 ☎35-8118

107番窓口に出張窓口を期間中だけ開設します。

お問い合わせは市民課へ。 ☎ 市民課 ☎21-8772

## 固定資産評価額の縦覧

土地や家屋の評価額などをご覧いただけます。

4月1日(金)～5月31日(火)。本館7階の固定資産税課703番窓口。

次の方に限ります①固定資産税の納税者、同一世帯の親族(本人確認できる運転免許証などを持参)②納税者から

委任を受けた代理人(委任状または同意書と、代理人の本人確認ができる運転免許証などを持参)。

☎ 固定資産税課 ☎21-8768

## 店舗などの改修の相談

次の場合は新たに消防用設備が必要になることがあります

①既存の建物に店舗を開きたい②ビルのテナントで店舗を開きたい③間仕切りなどで改修・改装したい。

計画時にご相談ください。 ☎ 予防課 ☎21-9727

## 平塚漁港(新港)は夜間立ち入り禁止です

平塚漁港(新港)は午前8時30分～午後5時に部分開放しています。

夜間は海への転落の危険性や漁業活動に支障が生じることから利用できません。

☎ 農水産課 ☎21-2066

## 新庁舎建設が進んでいます

現在は地下部分の工事を行っています。工事現場の西側では、建物の基礎となるコンクリートの床が完成しました。

北側では、基礎となる床を



基礎工事を進めています

# 博物館でサークル活動をしよう

各サークルの詳しい活動内容は博物館にお問い合わせください。同館ウェブをご覧ください。抽選。

天体観察会 さまざまな天体の観察方法や天体写真の撮影方法を学びます。

月1～2回、土・日曜日の午後と夜間。平日にも勉強会などをします。

中学生以上の方10人。

相模川の生い立ちを探る会 「相模川流域ジオツアー」をテーマに、暮らしとの関わりを考えながら大地の生い立ちを学びます。

月1回、土・日曜日の午前9時～午後5時。20人。

民俗探訪会 野外を歩き、お祭りや言い伝えなどの民俗文化を学びます。

毎月第3水曜日の午後1時30分～4時。野外活動の場合は午前10時～午後3時。10人。

聞き書きの会 地域の思い出話を聞き取り、聞き書き集「記憶をつないで」にまとめます。

毎月第1金曜日の午後1時30分～4時。20人。

石仏を調べる会 地蔵や庚申塔などの石仏を調べ、石仏を建てた人の心を探ります。

分～午後3時。10人。

お囃子研究会 祭囃子を映像などで学び、太鼓をたたいて実技を習得します。

月1回、土曜日の午後4時～6時30分。20人。

平塚の空襲と戦災を記録する会 平塚空襲に関する資料の収集・聞き取り調査・資料集の作成などをします。

月1回、土曜日の午後1時30分～4時30分。10人。

平塚の古代を学ぶ会 国庁模型の製作を目指して、相模国府と古代の歴史を勉強します。

平成28年度は相模国庁協製の模型を製作します。

月1回、原則として日曜日の午前10時～午後3時。10人。

古文書講読会(写真)

博物館が所蔵する古文書をグルー

プで自主的に講読します。毎週金曜日の午前10時～午後3時。5人。

地域史研究ゼミ 地域の古文書の共同研究を通して地域史研究の方法を学びます。

月1回、土曜日の午前10時～正午。古文書が読める方5人。

古代生活実験室 古代人の技術を学び、実践します。

28年度は火起こし道具の改良と古代の土笛の製作・演奏を中心に活動します。

月1回、木曜日の午前10時～午後3時。10人。

東国史跡踏査団 市内外の地域を選んで、現在と明治時代の地図を比べながら歩き、遺跡の立地や環境を体感します。

月1回、土曜日。時間は開催ごとに異なります。10人。

展示解説ボランティアの会 当番制で博物館の来館者へ展示を解説します。

定例会は月2回、毎月第1・3木曜日の午前9時30分～正午。

当番日は週1回、午前9時30分～午後4時。10人。

必要事項・年齢・サークル名を、往復はがきで、3月29日(火)までに、〒254-0041浅間町12-41博物館 ☎33-5111へ。

## 渋田川桜まつりを写真に撮りませんか

4月3日(日)午前9時30分～午後3時に開く渋田川桜まつりの写真を募集します。

写真の裏側に必要事項を記入し、郵送または直接、4月30日(土)までに、〒254-0081豊田打間木692-5渋田川桜まつり実行委員会事務局の岸 ☎53-2181へ。



3月20日(祝)午前7時～8時。小雨決行。総合公園南駐車場。

産業振興課 ☎21-9758

湘南ひらつか名産品・特産品フェア

湘南ひらつかルネッサンスまつり

各商店で当日限りのサービス、抽選会や模擬店、動物戦隊ジュウオウジャーショー(午前11時と午後2時)などがあります。

3月20日(祝)午前10時30分～午後4時。平塚駅北口中心商店街。荒天中止。 ☎ 商業観光課 ☎35-8107

湘南ひらつかふれあいマーケット 朝市

新鮮な野菜や魚、名産品を販売するほか、ダンベル体操などをします。

平塚の名産品や特産品を展示・販売します。

3月24日(木)～26日(土)、午前10時～午後8時30分。

ラスカ平塚1階星の広場(宝町1-1)。

平塚商工会議所 ☎22-511